

【資料1】平成29年度運営方針の達成状況(意見付き)

経営課題3 こども・青少年・子育て家庭の環境充実に向けて	評価					部会等での意見
	具体的取組		戦略の進捗状況	アウトパムの達成状況	戦略の有効性	
	達成状況	有効性				
<b>戦略3-1 切れ目のない子育て支援</b>						(4・5歳児就学前子育て支援事業) ●学校・家庭では、子どもが発達障がいのかどうか判別が難しいので、発達障がいの子どもとの接し方について、啓発・周知し、相談しやすくすれば。 ●虐待ケース等も増えているので、対象である4・5歳児だけではなく、他の年代にも積極的に関わりを増やしていくべきだ。  (こんにちは赤ちゃん訪問事業) ●区民ニーズがさらに高まっているので今後も続けていくことが必要である。
3-1-1 助産師による専門相談支援	①(i)	○	a	A	ア	
3-1-2 乳幼児期の切れ目のない相談支援 4・5歳児就学前子育て支援事業	①(i)	○				
3-1-3 こんにちは赤ちゃん訪問事業など地域における見守り支援	①(i)	○				
3-1-4 子育てに活かせる知識・情報の発信	①(i)	○				
3-1-5 地域子育て支援拠点事業(ひろば型)の整備	①(i)	○				
<b>戦略3-2 多様な保育ニーズへの対応</b>						(「こどもと地域を結ぶ居場所」づくり・学習支援事業) ●不登校の課題もあるがなかなか解決できない。居場所づくりをしているボランティア側の支援をしていくことも大切。 ●実施主体ごとに内容や回数などには違いがあるものの、広がりができていっているので、地域でさらに広がり根付いたらよい。 ●子どもの貧困について、『家に朝ごはんがないのが当たり前』という子どもがいるが、子ども食堂などを通じて、それが当たり前ではないと感じ取る場を与えてあげたい。健全な生活習慣、生活に触れる中で、みんながつながる形にもっていきたい。 ●地域の中で子どもの居場所づくりをどう広げていくか、また行政がどのようにサポートしていくかということが今後の課題。
3-2-1 保育施設未入所児童解消への対応	①(i)	○	b	B	ア	
3-2-2 多様な保育ニーズへの対応	①(i)	○				
<b>戦略3-3 こどもの生きる力の育成(自尊心向上の取り組み)</b>						(中学生勉強会) ●中学生からでは遅いので小学校の高学年から参加できる機会がある方がいいのでは。 ●参加している子がまだ20名と少ない。グループ指導にしてもいいのでは。 ●中学生勉強会で中学生・高校生・大学生がお互いに関わることで、子どもの自尊心が高まるのではないか。  (絵本読み聞かせ事業) ●読み聞かせの実施だけでなく、読み聞かせのボランティアの養成もしている。切れ目なくひろげて、取り組んでいただいているのでありがたい。 ●今までの取組みが繋がって少しずつ発展してきているのがよい。  (ゲストティーチャー派遣事業) ●今までの取組みが繋がって少しずつ発展してきているのがよい。
3-3-1 「こどもと地域を結ぶ居場所」づくり・学習支援事業	①(i)	○	a	A	ア	
3-3-2 東淀川区中学生勉強会	①(i)	○				
3-3-3 絵本読み聞かせ事業	①(i)	○				
3-3-4 ゲストティーチャー派遣事業	①(i)	○				
<b>戦略3-4 こども・青少年の健全育成・非行防止</b>						(青少年育成推進会議) ●地域の会議にPTAが参加する、学校行事に地域の方に来てもらうなど、一部の地域では既に行われていることを、他の地域と意見交換・情報共有できるような場所があればいい。  (要保護児童対策地域協議会の充実) ●要保護児童との関わりや非行の防止など、課題のある子どもたちと関わっていけるような事業がもっとある方がいい。  (体験型食育推進事業) ●今までの取組みが繋がって少しずつ発展してきているのがよい。
3-4-1 青少年育成推進会議	①(i)	○	a	A	ア	
3-4-2 要保護児童対策地域協議会の充実	①(i)	○				
3-4-3 体験型食育推進事業	①(i)	○				
3-4-4 こどもの安全確保のための見守り活動の充実	①(i)	○				
<b>戦略3-5 分権型教育行政の推進及び学校支援・教育コミュニティの充実</b>						(青少年育成推進会議) ●地域の会議にPTAが参加する、学校行事に地域の方に来てもらうなど、一部の地域では既に行われていることを、他の地域と意見交換・情報共有できるような場所があればいい。  (要保護児童対策地域協議会の充実) ●要保護児童との関わりや非行の防止など、課題のある子どもたちと関わっていけるような事業がもっとある方がいい。  (体験型食育推進事業) ●今までの取組みが繋がって少しずつ発展してきているのがよい。
3-5-1 「ニア・イズ・ベター」に基づき、地域の実情に応じた分権型教育行政の効果的な推進	①(i)	○	a	A	ア	
3-5-2 学校・地域・保護者・行政が連携した子育て教育活動	①(i)	○				